

公益社団法人 地盤工学会関東支部



JGS Kanto

Newsletter

Kanto Branch of Japanese Geotechnical Society

公益社団法人地盤工学会における Geo-Kanto のあり方

関東支部副支部長

赤木 寛一

(早稲田大学理工学術院教授)

昨年5月に副支部長に就任し、支部発表会 (Geo-Kanto) 担当として支部発表会グループのお手伝いをしています。この支部発表会は、支部発表会グループを中心として関東支部管内の都県8グループの持ち回りで運営、開催をされてきました。

昨年11月12日、13日には、現役学部学生の取り込みをねらいとして栃木県宇都宮市において第6回関東支部発表会 (Geo-Kanto2009) を開催し、参加者232名、発表件数147件を迎えて盛会のうちに終えることができました。また、今年も11月4日、5日に埼玉県大宮市において第7回関東支部発表会 (Geo-Kanto2010) を、昨年とほぼ同規模の



参加者、発表件数で開催することができました。いずれの発表会においても、昨年の支部発表会グループリーダー、清木先生 (宇都宮大学)、今年のグループリーダー、橘先生 (埼玉大学) そして関東支部事務局、青木さんの頑張りや栃木県、埼玉県グループの皆様の全面的な支援、ボランティア的な貢献をいただいて、開催にこぎつけてきています。

都県8グループ開催のしんがりの山梨県開催を目標にグループリーダーとして吉嶺先生 (首都大学東京) を迎えて、支部発表会グループの来年度の準備を始めようとするこの時期に、地盤工学会の公益社団法人としての認可、登記が行われました。地盤工学会が公益社団法人としてスタートすることは、一層の公益、社会の発展に寄与するために会員の増大と学会活動の活性化の好機とすべきことが日下部地盤工学会会長によって標榜されています。このことは、支部発表会のあり方にも大きな影響を及ぼすものと言えます。支部発表会の場は、学会会員へのサービスのみならず、一層の公益、学会外部への積極的な貢献が求められることになると考えます。

現在までに進められてきた都県 8 グループのまわり持ちによる発表会開催時においても、特に地域の視点から学会外部への貢献が具体的に試みられてきました。この試みは今後も重要と思いますが、国内最大の会員数を有する関東支部として、支部発表会グループ、都県 8 グループのメンバーのボランティア的な貢献に頼ることなく、他の事業担当グループとの再編をも視野に入れた支部組織の構成を含めた抜本的な検討が必要になってくると思われます。これらの検討を通して、公益社団法人地盤工学会としての会員増大、学会活動の活性化に寄与しうる関東支部発表会、GeoKanto のあり方の提案を目指したいと考えております。ご期待ください。

「東京外かく環状道路（外環）千葉区間の見学会の報告」

千葉県グループ 幹事
山田 忠利（中央開発(株)）

千葉県グループでは、国土交通省・首都国道事務所および東日本高速道路（株）千葉工事事務所のご協力により、平成 22 年 7 月 29 日に東京外かく環状道路（外環）千葉区間の現場見学会を行いました。

外環千葉区間は平成 27 年度全線開通予定で鋭意工事が進められていますが、今回の見学会ではその全体の進捗状況と、京葉道路と接続する京葉 J C T の工事の様子、国分地区で施工された掘割構造の試験工事の様子、ごく薄い土被り条件のもとでのトンネル工事（小塚山トンネル）の結果などについて現地を視察したものです。

市街地で周辺環境に与える影響を最小限に抑える様々な設計施工上の工夫は地盤工学に携わる会員にとって極めて有意義なものとなりました。

当日は、朝からの豪雨と強風にもかかわらず、熱心な 33 名の参加者が市川駅に集合し、①京葉 J C T 工事地区～②国分掘割試験工事地区～③小塚山トンネル工事地区の 3 工事地区を見て回り、最後に外環松戸相談所で総括的な説明を受けました。

- ① 京葉 J C T 工事地区では、残念ながら雨の影響で工事地区を見てまわることはできませんでした。当地区は、市街地であり、かつ複雑な地下構造となるため、難工事となることが予想されています。現地には工事による渋滞発生をさけるため、仮設の工事用道路ができていました。（写真 1 参照）
- ② 国分掘割試験工事地区は、市街地での本格的な施工に先立ち、安全かつ品質の高い工事を実現するために試験施工を実施した区間であり、開削工法とケーソン工法の 2 ケースでその効果と影響を確認しています。（写真 2 参照）
- ③ 小塚山トンネル工事地区は、小塚山の自然をまもるために土被りの薄い条件での工事で、パイプルーフ工法が採用されています。本線は開通し、現在は側道を施工中です。また、周辺住民からの要望・配慮により工事現場を建屋構造とし、透明の囲い板を採用しています。（写真 3 参照）

最後に現地を案内してくださった国土交通省・首都国道事務所副所長絹川様、東日本高速道路（株）千葉工事事務所副所長松村様をはじめとする担当者の方々ありがとうございました。



写真1 京葉 JCT 工事地区 (仮設工事用道路)



写真2 国分掘割工事地区



写真3 小塚山トンネル工事地区透明仮囲い



写真4 外環松戸相談所屋上より

「第6回地盤工学会栃木県グループ講習会」の実施報告

栃木県グループ リーダー幹事
西村 友良（足利工業大学）

1. はじめに

平成22年10月19日（火）に地盤工学会関東支部栃木県グループ主催の「地盤を学ぶ」を平成20年度に引き続き開催しました。昨年度は、栃木県宇都宮市で関東支部発表会(Geo-Kanto2009)が開催され、栃木県グループでこの発表会の実施をサポートしましたので、講習会の開催を見送りました。

2. 講習会の概要

今回の講習会「地盤を学ぶ」では、地盤工学会関東支部の二つの研究委員会、「造成宅地の耐震調査・設計・対策方法に関する検討委員会」と「事業継続を可能とするための既存構造物周囲の地盤改良(補強)工法に関する研究委員会」から講師を迎え、主に栃木県内の地盤関係の実務者、技術者、研究者に研究の成果を説明して頂きました。開催場所、スケジュールは以下の通りです。

(1) 講習会会場

とちぎ福祉プラザ 2F 第2研修室（栃木県宇都宮市若草1丁目10番6号）

(2) 講習会実施スケジュール

13時00分	開会挨拶 地盤工学会関東支部評議員・栃木県グループ リーダー幹事 足利工業大学都市環境工学科 教授 西村 友良
13時10分	「造成宅地の耐震調査・設計・対策方法に関する検討委員会」による講習会 テーマ：「宅地造成等規制法改正と実務の手引き」 講師：西村 真二 氏(UR都市機構), 山本 彰 氏(大林組)
14時40分	質疑応答
14時55分	休憩
15時10分	事業継続を可能とするための既存構造物周囲の地盤改良(補強)工法に関する研究委員会による講習会 テーマ：「事業継続のための既存構造物周囲の地盤改良について」 講師：林 健太郎 氏(五洋建設), 深田 久 氏(不動テトラ)
16時40分	質疑応答
16時55分	閉会挨拶 地盤工学会関東支部評議員・栃木県グループ幹事 栃木県地質調査業協会 会長 佐藤 節 氏

3. 講習内容

(1) 宅地造成等規制法改正と実務の手引き

西村氏(写真1)から造成宅地の耐震調査・設計・対策方法に関する検討委員会が出版された書籍の目次およびその概要が説明されました。その後、宅地造成に関連する法令の改正を説明して頂きました。宅地の地形情報をもとに一次スクリーニング、現場調査に基づく二次スクリーニングの考え方、この調査委に基づいた変状事例、変状の機構、対策事例が紹介されました。引き続き、山本氏によって、地盤調

査, 安定解析, 対策工の詳細が説明されました. 講演の後質疑応答を行いました. 宅地地盤の特性(パラメータ)を求めるための試験方法と一次スクリーニングの手法を実用に移行するための課題について質問がありました.

(2) 事業継続のための既存構造物周囲の地盤改良について

林氏によって, 委員会の関東支部内の位置づけ, 一般的なBCP(事業継続計画)の概念が説明されました. これに地盤改良の各種施工法を組み合わせ, 災害時の工場の生産量をできるだけ減らさない工夫とその費用の関連について説明がありました. 深田氏から, 具体的にBCPを各種構造物に適用するための手順をフローチャートによる検討事例を示して頂きました. 質疑応答では, 病院などの重要度が高い施設のBCPの有無について, 地盤改良を行う薬剤の環境への影響について質問がありました.



写真1 西村氏による講演風景



写真2 講習会会場の様子

4. おわりに

今回地盤工学会関東支部の二つの研究委員会から4名の講師に講習会の講師を務めて頂き, 82名もの方に参加者して頂きました(写真2). 会場で行ったアンケートから, 今回の講習内容が好評である一方で, 中身が盛りだくさんであるとの意見も頂きました. 引き続き, 栃木県内の地盤技術者の技術力向上のためにも, 興味をひく講習会の企画を考えてゆきたいと思います.

謝 辞: 講習会を開催するにあたり, 土木学会関東支部栃木会, 栃木県地質調査業協会に共催として参画して頂き援助をしていただいた. また, 宇都宮市建設技術協会, (社)栃木県建築士会, 日本建築学会関東支部栃木支所に後援をしていただき, 開催に際して多大なるお力添えを頂きました. ここに記してお礼とさせていただきます.

「第2回若手会員交流会」開催報告

企画総務グループ 幹事

鎌田 敏幸（ケミカルグラウト㈱）

学生会員や、若手技術者・研究者が直面している課題や近況について自由に意見交換を行う目的で、標記交流会を第7回地盤工学会関東支部発表会の若手交流セッションとして、平成22年11月4日（木）15時10分から大宮ソニックシティの601会議室にて開催いたしました。本交流会を開催することで、今後の会員同士のネットワーク強化を図ることも期待できます。

当日は、57名の出席でコーディネータ（5名）とオブザーバーの港湾空港技術研究所の菊池幹事長、埼玉大学の桑野教授にも御参加を頂きました。

鎌田（ケミカルグラウト）の開催に先立っての挨拶の後、若月氏（関東地方整備局）、渡邊氏（大林組）、菊地氏（大成基礎設計）、竹之内氏（鹿島建設）、石丸氏（電力中央研究所）の順に約5分間ずつそれぞれのコーディネータの自己紹介、所属する業界の仕事内容や位置づけ、現在行っている業務や直面している課題等の説明をして頂きました。その後、フリーディスカッションによる意見交換を行いました。意見交換会では、A（鎌田、若月氏）、B（石丸氏、竹之内氏）、C（渡邊氏、菊地氏）の3つのグループ分けを行い、参加者と車座になって意見交換を行いました（写真1）。参加者の90%以上が大学生ということもあり、どのグループにおいても参加者から「現在の業界に就職した理由」、「学生時代の勉強・研究が社会人になって役立つのか」等の質問が多かったです。その他の質問では、「就業状況（勤務時間、休日の取得、勤務地）」、「現場での仕事はどのようなものか？」等がありました。また、「卒業後の会員継続について」、「社会に出てからの英語能力の必要性」等についてディスカッションを行いました。さらに、途中からグループ分けもない形で、文字通り自由にディスカッションを行うことになりました。その際には、大学や企業の垣根を越えて意見交換が行われました。それぞれのコーディネータと少数の参加者が一つの議題に深く意見交換する形となりました。

ただし、「参加者に占める学生の割合が多すぎる」、「グループ分けを行った際に話の切り出し方が難しく初めの間は沈黙があった」等のアンケート結果がありました。今後は、開催形態について若手社会人に的を絞る、事前申し込みをして頂く等の工夫をしながら、若手会員交流会を継続していく予定です。

謝辞： 本交流会を開催するにあたり、当日の運営で第7回地盤工学会関東支部発表会の埼玉大学橘助教を始めとする運営スタッフに多大なるお力添えを頂きました。ここに記してお礼とさせていただきます。



写真1 意見交換会の様子

「平成 22 年度 神奈川県地盤工学セミナー」開催報告

神奈川県グループ 幹事

森川 嘉之（港湾空港技術研究所）

大塚 博（応用地質(株)）

三枝 弘幸（東亜建設工業(株)）

平成 22 年 11 月 12 日 14 時から関東学院大学関内メディアセンターにおいて、「平成 22 年度 神奈川県地盤工学セミナー」を開催しました。本セミナーは地盤工学会の活動を広く知って頂く目的で開催しているもので、今回で 4 回目の実施となります。

本年度のセミナーのテーマは、進行中のプロジェクトおよび昨今話題の多い耐震設計に加え、先月発刊された「大いなる神奈川の地盤」に関する内容とし、三名の講師の方々にご講演をお願いしました。第一講演は、鉄道総合技術研究所の渡邊健治様に「抗土圧構造物の地震時変形量算定法と設計基準への反映」というタイトルで、ご講演いただきました。第二講演は、大成建設株式会社の末岡徹様に「トルコ・ボスボラス海峡横断鉄道トンネル建設プロジェクトー世界最大水深・急潮流下の沈埋トンネル建設と地盤工学関連技術ー」についてご講演いただきました。第三講演では、元神奈川県県土整備部長の、小方武雄様に、「土木施設と神奈川の地盤」についてご講演いただきました。50 名余の方にご参加いただいたことに加え、参加者の方々の講演内容への関心が高く活発な意見交換がなされ、非常に良い会となりました。

また、ご講演の間にポスターセッションを行いました。今年度は、12 件とこれまでで最多の応募がありました。テーマは多種多様で、別会場にもかかわらず、ご来場頂いた方のほとんどが足を運んで下さり、活発な意見交換がなされました。

神奈川県グループでは、今後も、プログラムの内容や告知方法を工夫するなどして、本セミナーを継続・発展させ、多くの方にご参加いただけるようにと考えております。



1) 渡邊様の講演の様子



2) 末岡様の講演の様子



3) 小方様の講演の様子



4) ポスターセッションの様子

写真 1 神奈川県地盤工学セミナーの様子

【行事報告】

日程	行事名称	場所
H22.4.1	特別会員出前講演会	ケミカルグラウト(株)
H22.4.26	国際講演会「中国山峡区域における地すべり・斜面崩壊の実情と対策」	JGS 会館
H22.4.27	平成 22 年度関東支部総会(午後 16 時～17 時) 特別講演会「国土交通行政の将来展望に関する話題提供」(午後 17 時 30 分～18 時 30 分), 意見交換会(午後 18 時 30 分～19 時 30 分)	JGS 会館
H22.5.21	「事業継続を可能とするための既存構造物周囲の地盤改良(補強)工法に関する研究委員会」報告会	千葉工業大学 津田沼キャンパス
H22.6.18	「新技術を用いた空(宇宙)からの地すべり地形把握と解析」シンポジウム 主催：(社)日本地すべり学会関東支部 後援：(社)地盤工学会関東支部	東京大学武田先端知ホール
H22.7.23	宇都宮那須烏山線高瀬トンネル建設現場見学会	栃木県那須烏山市
H22.7.29	東京外かく環状道路(外環)千葉区間見学会	千葉県市川市
H22.8.4	椎坂トンネル現場見学会	群馬県前橋市
H22.8.6	中部横断自動車道醍醐山トンネル建設事業に関わる現地見学会	山梨県甲府市
H22.8.24	特別講演会「東京スカイツリーの構造設計について」	JGS 会館
H22.9.21	「実務者のための戸建住宅の地盤改良・補強工法 -考え方から適用まで-」講習会 主催：日本材料学会 協賛：(社)地盤工学会関東支部	建築会館ホール
H22.9.24	地質リスクマネジメント事例研究発表会 主催：(社)全国地質調査業協会連合会 協賛：(社)地盤工学会関東支部	飯田橋レインボービル
H22.10.19	第 6 回地盤工学会栃木県グループ講習会	とちぎ福祉プラザ
H22.11.4～5	第 7 回地盤工学会関東支部発表会(Geo-kanto2010)	大宮ソニックシティビル
H22.11.4	第 2 回若手会員交流会	大宮ソニックシティビル
H22.11.12	平成 22 年度神奈川県地盤工学セミナー	関東学院大学関内メディアセンター
H22.11.19	臨時支部総会・H22 年度第 1 回評議員会	JGS 会館
H22.11.26	出前講座「福井県藤島高校」	福井県藤島高校

H22.11.29	彩の国市民科学オープンフォーラム	大宮ソニックシティビル
H22.12.1	茨城県グループ「森林総合研究所見学会」	茨城県つくば市
H22.12.2	第2回メタンハイドレート総合シンポジウム 主催：産総研メタンハイドレート研究センター 協賛：(社)地盤工学会関東支部	産業技術総合研究所
H22.12.17	書籍「関東の地盤」及び地盤情報データベースに関する講習会	JGS 会館

ゴシックの行事報告を本号でご紹介しています。また、これまでの行事報告については関東支部のホームページでご覧下さい。

【行事予定】

日程	行事名称	場所
H22.12.22	千葉県グループ「技術講習会」	千葉市生涯学習センター
H22.12.22	国際講演会「Principles of Geotechnical Forensic Engineering and Case Studies」	JGS 会館
H23.1.27	栃木県グループ・書籍「関東の地盤」の地盤情報データベースに関する勉強会	宇都宮市東市民活動センター

行事予定の最新情報については関東支部のホームページでご確認ください。

【今後の委員会予定】

日程	委員会名称	場所
H22.12.20	防災・減災のための地盤構造物の設計・施工法に関する研究委員会	JGS 会館
H22.12.21	関東地域の火山由来地盤の災害事例研究と地域特性に関する研究委員会	JGS 会館
H23.1.11	地盤工学におけるリスクマネジメントに関する事例研究委員会	JGS 会館
H23.1.12	研究委員会グループ	JGS 会館
H23.1.19	防災・減災のための地盤構造物の設計・施工法に関する研究委員会 WG	JGS 会館
H23.1.26	薬液注入工法を用いた地盤改良技術の今後の展開に関する調査・検討会	JGS 会館
H23.1.27	群杭挙動の実証的研究委員会	東京大学
H23.2.1	運営委員会	JGS 会館
H23.2.3	地下水位の回復にともなう広域地盤隆起の問題とその地中施設への影響に関する研究委員会 WG-3	JGS 会館

関東支部では、メーリングリストにご登録頂いた会員の皆様に行事案内を随時お知らせしております。登録をご希望の方はお名前、会員番号、メールアドレスを明記の上、E-mail : kantouevent@jiban.or.jp または FAX : 03-3946-8678 までお申し込み下さい。

地盤工学会創立 60 周年・同関東支部創立 5 周年の記念事業「絵画コンクール」(平成 21 年)から



中高生の部 篠塚洋佑さん「グランドキャニオン」



中高生の部 武藤 葵さん「地盤の夢」

(玉手 聡：企画総務グループ 幹事)

発行 公益社団法人 地盤工学会関東支部
〒112-0011 東京都文京区千石 4 丁目 38 番 2 号 JGS 会館内 TEL 03-3946-8670 FAX 03-3946-8678
<http://www.jiban.or.jp/kantou/index.html>